



緑丘トピックス

平成 28 年度
第 1 号
4月28日(木) 発行



Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校 TEL/FAX 0142-24-3021



校長マニフェスト

北海道伊達緑丘高等学校長 吉瀬 献策

北海道にあって「北の湘南」といわれ、内浦湾沿いに遠く駒ヶ岳を、有珠山・昭和新山を正面に遠くは羊蹄山を背景に眺望開けた土地に位置する本校は、昭和58年の開校以来、「創造 礼節 剛健」の校訓のもと、5千名近くの有為な人材を世に送り出しています。

開校当時の本校の目指す学校像は進学校であり実績も残してきましたが、社会情勢や生徒、保護者、教職員、地域住民の方々の意識の変化に伴い変容してきました。

そうした中、いま改めて、本校の立ち位置をしっかりと見定め、進むべき道を見出していくことが喫緊の学校課題であり我々教職員の務めです。伊達市をはじめとして、周辺の地域の中学校出身者が、費用と労力をかけて室蘭市へ進学しなくてもいいような存在意義をもった学校づくりを推進します。さらに、中学生人口が減少し、高校の統廃合が進められる中において、本校がいつまでもこの南稀府の地に在りつづけるために必要と思われる学校経営について以下に示します。

- 1 キャリア教育の視点から、高校卒業後の5年、10年、さらにその先の生き方在り方について思考させる教育を推進します。
- 2 生徒に志をもたせ、現状に甘んじることなく高見を目指す取組をします。具体的には、進学希望者には難関校へのチャレンジと有名大学への合格率アップ。就職希望者には競争率の高い公務員職種の合格率や人気企業への就職率のアップを図ります。
- 3 生徒自ら考えさせる教育を推進し、満足度の高い学舎の創造を図っていきます。
- 4 良識と常識を備え礼節を知る、バランス感覚を備えた人間性の育成を図ります。
- 5 気力・体力の充実を図り、少々のことにはへこたれず立ち向かえる精神と肉体を育みます。
- 6 安心安全な学習環境の確立と維持に努めます。
- 7 保護者や地域から期待され支援される学校づくりを推進します。
- 8 我々教職員は、教育公務員としての自覚を常にもち、法令遵守に努めるとともに、生徒にとってよき先達者であるために修養と研修に励み、魅力ある人間でありたいと思います。

「第34期生入学式」 ～138名が緑高生に～

4月8日(金)、本校体育館にて「入学式」が挙行され、緑丘の制服に身を包んだ138名の新入生が緑高生の仲間入りを果たしました。式では、吉瀬校長が「より高見を目指して努力してほしい」「良き師、良き友との出会いを大切にしてほしい」と式辞を述べたほか、山本勇PTA会長からは「多くの課題を克服し人として強くなり、未来を切り拓く“自分探しの旅”を大いに楽しんでください」と、新入生の船出に心温まるお祝いと激励の言葉をいただきました。また新入生を代表して、A組の平田千鶴さんが宣誓を行い、高校生活への決意を新たにしました。



本校は今年度から全学年で「複数担任制」を実施していることから、2名の学級担任がそろって新入生とともに入退場。式が終わった後のホー

ムルームでは、配付された学年通信をもとに、担任それぞれから緑丘でのスクールライフについて紹介されました。全学年・全学級において、すべての教職員が「チーム緑高」で教育活動にあたっていきます。



なお入学式に先立ち、2・3学年の生徒を対象に「始業式」が行われ、次のとおり今年度の担任団が発表されました。ともに素晴らしい伊達緑丘高校を創り上げていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

＝ 平成28年度 担任団紹介 ＝

本校は今年度から「複数担任制」です。どうぞよろしくお願いいたします。

学 級	担 任		学 年 付
1年A組	青木 仁 (体)	岸 百合子 (社)	寺沢 英幸 (社) 五浦 典子 (養)
1年B組	小関 隼 (英)	萬谷 陽子 (家)	
1年C組	玉重 七郎 (数)	山本 耕三 (理)	
1年D組	黒田 聖乃 (理)	吉田 和弘 (国)	管野 博 (体) 北條由加里 (実)
2年A組	戸沼 義明 (社)	佐々木恵美 (英)	
2年B組	越出 洋 (国)	土井 雅博 (数)	
2年C組	佐々木大介 (数)	安部 文代 (国)	
2年D組	遠藤 友祐 (理)	上田 穰 (英)	沖中 重知 (理) 佐藤 幸英 (数) 永田 哲之 (国)
3年A組	今 信行 (社)	兒玉 英之 (数)	
3年B組	上原 弘樹 (英)	田中 溪也 (体)	
3年C組	三浦 倫子 (音)	嘉野 隆仁 (社)	
3年D組	菅原 史悦 (英)	長岡 章人 (国)	

授業参観・PTA総会 など ご来校ありがとうございました



本校は4月23日(土)を登校日とし、授業参観や保護者向け進路講演会のほか、PTA・体育文化後援会総会、学年懇談などを実施しました。休日にもかかわらず、当日は約80名の保護者の方々が来校され、授業のようすなどを見学していただきました。

教室では生徒たちがさまざまな学習活動。1年B組の「物理基礎」の授業では、グループになって協力して問題解決に取り組み、活発に意見を述べ合ったり、教え合ったりする様子がみられました。保護者の方も、久しぶりに味わう授業の雰囲気、懐かしい表情を浮かべながら和やかに参観されていました。



授業参観後は、視聴覚教室にて「保護者向け進路講演会」が実施され、リクルート社の菅田みどり先生を講師に、進路実現に向けた家庭での支援・サポートや進学資金などについて、ご講演いただきました。

また、PTA・体育文化後援会総会では、昨年度の事業・決算報告と今年度の計画・予算等が審議され、議案書のとおり承認されました。新役員の方々も決定し、より良い学校環境づくりを目指して、両会の新体制がよいスタートしました。ご参加いただき、ありがとうございました。

《父母と先生の会 新役員》

会 長 久保 博一
副会長 鈴木 敏則
副会長 白山 恵里
副会長 吉瀬 献策 (校長)
監 査 岸田 完・川西 直愛・三星 純子 (両会兼務)

《体育文化後援会 新役員》

会 長 渡邊 一彦
副会長 今藤 康之
副会長 三浦 砂織
副会長 吉瀬 献策 (校長)

